

## 第2回横手市総合計画審議会会議録

日 時 令和3年1月13日(水) 18時00分～19時43分

場 所 横手市役所本庁舎「第一会議室」

**出席者 【委員】**佐々木均委員、眞壁聡子委員(オンライン参加)、奥山ひとみ委員、高橋美鈴委員、佐藤正弘委員、柿崎大二郎委員、高橋雅博委員、堀内勝彦委員、高橋幸雄委員、奥山和彦委員、岩根えり子委員、岡部宏哉委員、伊藤大介委員、佐藤実園委員、北野悟委員

**【市側】**

(事務局)総務企画部長 村田清和、総務企画部経営企画課長 森田博範、同課課長代理 小田嶋あけみ、同課主査 大友孝之、同課主任 佐藤剛

**欠席者 【委員】**木村忍委員、奥ちひろ委員、鈴木百合子委員

---

### 1. 開会 (18:00)

### 2. 会長あいさつ

皆様こんばんは。令和3年になりまして早2週間になろうというところですが、今年は例年とは全く違って、皆様お正月気分どころではないということだと思えます。今、森田課長からもお話がありました通り、本県ではこの豪雪ということで、横手市では積雪2メートルに届こうという大変な大雪。秋田市でも除雪がなかなか追いつかないということで、秋田市は秋田市で非常に大変なんですけれども、皆様お疲れのところご参集くださいまして本当にありがとうございます。なかなかいい話題を見つけるのは難しいのですが、新型コロナウイルスに関しましては全国的には首都圏で1都3県に緊急事態宣言が出ている。そして、間もなくですけれども発出されたかもしれませんが、関西圏を中心として7府県に追加で緊急事態を発出すると聞いております。本県でもポツリポツリと感染をされている方がいらっしゃるということで、県南でも感染している方がおり、大変心配している所であります。なんとか終息の方向に向かってもらえないかと、ただただそれを願っているというところでございます。

さて、横手市総合計画審議会でありますけれども、第1回は昨年11月25日の開催ということでありました。委員の皆様から大変貴重なご意見をいただきまして、その後、事務局のほうも大変ご難儀をされたと思いますが、その貴重なご意見を受けてまた案を練って、大変膨大な資料をご提出いただいたと思っております。今回皆さんお持ちな訳ですけれども、ぜひ皆様の忌憚のないご意見を賜りたいと思っております。さらに資料が届きましてからご丁寧に事務局にご意見を寄せくださった皆さんがいると伺っております。本当にありがとうございます。また、

## 第2回横手市総合計画審議会会議録

比較的人数が多い中での審議会ですので、全体場で発言が難しいなと感じておられた委員の皆さんもいらっしゃると思いますが、皆様各方面でお仕事、あるいは様々な活動での立場、あるいは専門的な立場でご活躍されている委員の皆さんでいらっしゃいますので、どうか素朴に感じた疑問、なんでも結構ですので、小さいことでもどんどん出していただければ大変ありがたいと思います。本日もどうかよろしく願いいたします。

### 3. 議事

#### (1) 第2次横手市総合計画後期基本計画（素案）について

##### (事務局)

資料1～資料3をもとに説明。資料7は、昨年12月24日以降に事務局に寄せられたご意見・ご質問の一覧になっており、素案にはまだ反映されていない。資料の説明は、質疑の中で行わせていただく。

#### ■政策1

##### (事務局)

資料7の【施策1-1】を資料に基づき説明。

#### ～質疑応答～

##### (眞壁聡子委員)

最初の質問は私ですが、ご回答の内容はその通りだと思いますが、「取り組み方針」に書いてある「家庭はもとより地域など社会全体が」と書かれていると、家庭と地域を並列に扱って、このまま読むと、家庭とか地域などの社会全体が子育てをする。家庭が子育て支援を推進するというのはちょっと違和感があります。確かに親や子どもや兄弟やおじいちゃん、おばあちゃんが子育てをするというのはわかるけれども、子育て支援を推進するにかかっていったのではないかなと言う感じがしました。

##### (会長)

ありがとうございます。事務局いかがですか。

##### (事務局)

主語と述語については、先生のご指摘のとおりです。

##### (会長)

家庭は子育ての主体であって、支援は家庭と別の立場の方が支援をされるという意味合いがあると思いますので、文言を再度練っていただければ大変ありがたいと思います。先生よろしいですか。

##### (眞壁聡子委員)

ご回答のような内容が伝わればいいと思います。その通りだと思いますので。

##### (会長)

他にありませんか。

## 第2回横手市総合計画審議会会議録

それでは、私から何点か。政策1ではないのですが、素案の1ページ「目次」のところで、「第3章 分野別計画」とあって、「1. はじめに」「2. ページを構成する要素」「3. SDGsとの関連」となって、このままだと各政策が3の「SDGs」の中に含まれるので、ちょっと変だと思う。例えば、政策3の中に突然「④」と出てくる。たぶん前のが残っていると思うので、項目立てをもう1回検討していただければと思います。「4. 政策」とするとすっきりするのではないかと思います。

それから、26ページの一番下に棒グラフが出てきますが、これは生活保護を受けている方的人数ですか。

(事務局)

そうです。

(会長)

そうすると見出しに「保護人員」とあるが、ちょっとわからなかったので、「生活保護」ときちっと書いていただいたほうがわかりやすいと思うので、ご検討ください。

### ■政策2

(事務局)

資料7の【施策2-1】【施策2-4】【施策2-5】を資料に基づき説明。

～質疑応答～

(会長)

34ページ「5 私たちが協力できること」の2つ目の●に、「事業者は、総合学習における機会や」という表現があるんですけども、学習指導要領上の用語でいくと「総合学習」とよく言っているんですが、正確には「総合的な学習」ということになりますので、「総合的な」と入れていただいて、そうすると、「における機会や」と言うよりは「総合的な学習を受け入れる」とか、そのへんの文言の検討をお願いできればと思います。

### ■政策3

(事務局)

資料7の【施策3-1】【施策3-2】【施策3-5】を資料に基づき説明。

～質疑応答～

(眞壁聡子委員)

さきほどご説明いただいた「空き家予備軍」のところですけども、ご回答の内容で皆さんご理解できるのではないかと思いますのですが、「発掘」という言葉は「遺跡を掘り出す」とか「人材発掘」のように、優れた、隠れているものを探し出すという感じがあります。「空き家予備軍」という「予備軍」という言葉だけで十分な感じがして、空き家について「発掘」という言葉を普通は使わないので、「予備軍」だけ

## 第2回横手市総合計画審議会会議録

で十分なので「空き家予備軍の把握」とかですね。「発掘」と言われると「あそこの家のお年寄り一人暮らしだから」探し出すというような感覚がちょっとなと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

(会長)

ありがとうございます。事務局いかがですか。

(事務局)

おっしゃる通りだと思います。「把握」のほうがよいかと思います。

(会長)

ここに関連して、さきほどの説明にもありましたけれども49ページの5番には●が4つあるんですけども、2番目と4番目が空き家対策とか高齢者対策になっていて、順番がこれでいいのかなと。例えば2番目の●が3番目に来てもいいのかなと思ったのですが、そうすると今度は内容がダブルのかなと。ちょっと精査していただいて、空き家対策をまとめて3項目くらいになるかもしれないなとも思いました。整理をお願いしたいと思います。

皆さん、他にいかがですか。

(高橋雅博委員)

60ページの「現状と課題」の最初の●で、「地球温暖化対策や災害時のエネルギー確保のため再生可能エネルギーへの転換」と書いているんですけども、災害時に再生可能エネルギーは頼りになるのでしょうか。温暖化のためには転換が必要でしょうけれども、災害時のバックアップには全く役に立たないと思いますけれども。

(事務局)

ここは確認します。

(会長)

確認していただいて、ソーラーなんかで充電しておくという間接的なものはあるかもしれませんが、災害時はガソリンなど多いと思いますので、検討をお願いします。ありがとうございます。

他にありませんか。

それでは私から、51ページの「1. 目指す将来の姿」の2行目です。「まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が」と続いてくるんですけども「豊かな自然環境」が「河川」だけで代表されていますが、いっそのこと「河川などの」がいらないかなと思ったり、あるいは古くからの横手市のキャッチーな言葉だと「山と川のあるまち」ですので、そういうのをつけてもいいのかなと。河川だけではないので、表現を考えていただければよいのかなと思いますので、ご検討をお願いします。

### ■政策4

#### ～質疑応答～

## 第2回横手市総合計画審議会会議録

(岡部宏哉委員)

P70の「私たち(市民・事業者)が協力できること」で、「市民が地元企業をよく知り」云々と、「市民は会社のことを知ろうと頑張ります」とありますが、できればここに「事業者もまた自分の会社のいいところを市民の方に周知します」というような目線も必要なのかなど。金融機関に身を置く者として、地域、地域に素晴らしい企業がたくさんあるということで、それをお互い双方知り得るような機会を作っていくことも、雇用の場というのに必要なのかなと考えますので、その辺検討いただければと思います。

(会長)

事務局いかがですか。

(事務局)

承知しました。おっしゃる通りでありますので、担当課とも検討させていただきたいと思います。

(会長)

ありがとうございます。他に皆さんからご意見ありませんか。

64ページの表の⑤の3)ですけれども「適切な手入れがされていない森林の整備や、木材の利用の推進」はその通りだと思います。

可能かどうか検討をしていただきたいと思うのですが、森林の荒廃は大問題ですし、農家さんの高齢化等によりまして耕作放棄地が増えていると、これもまた横手市だけではなく大問題です。こういう耕作放棄地の整備も大事なことはないかと思います。整備すると、人と野生動物との緩衝帯ができ、例えば熊の出現をある程度抑制できるというお話もあります。そういう内容を入れられないかご検討願えればと思います。

それから、77ページですが、ここに施策の展開ということで「人を呼び込む」という具体的な取り組みが書かれているんですけども、おそらくこの素案を練っているとき、新型コロナの話が来たと思うのですが、ご存じのとおり、例えばワーケーションとか、Aターンとか、例えば秋田市とか由利本荘市とかはそういう希望が殺到しているというような、「田舎暮らし」の雑誌が出ていると。全国一の宮城県栗原市はそういうポイントが高いとか。そういう内容も具体的な取り組みに盛り込めたら今の情勢に即しているのかなという感じがします。ご検討願えればありがたいと思います。

(岡部宏哉委員)

P78のサブ指標で、高卒者の県内就職云々という数値があがっています。総合戦略にもかかわってくるんですけども、総合戦略でいただいた資料に、社会減で、20代前半から20代後半になるときちょっと転入超過になります。大学などの卒業の就職先として横手市を選択し、転入する若者が多いという分析が出ているんですけども、この関連からすると、もしかしたらサブ指標の高校生がこのまま地元で就

## 第2回横手市総合計画審議会会議録

職してもらおうというのと、大学生とかAターンで戻ってきますというようなそういう方の指標を入れてもどうでしょうかというところなんですけれども。

(会長)

そういう指標が現段階で平成31年の辺りで出ているかどうかというのも関係あるかと思いますが、事務局いかがですか。

(事務局)

まさしくおっしゃるとおりだと思います。指標の取り方の部分で可能、不可能があるかもしれませんので、担当課と調整させていただいて検討したいと思います。

### ■政策5

(事務局)

資料7の【施策5-4】を資料に基づき説明。

～質疑応答～

(会長)

89ページの施策の成果指標のサブ指標に「人口密度」の単位が「人」になっていますが、これは1平方キロメートルあたりですか。人口密度ですので、単位を正確に入れていただかなければいけないと思います。

### ■政策6

(事務局)

資料7の【施策6-3】を資料に基づき説明。

～質疑応答～

(会長)

委員の皆様からみてもわかりにくいなという表現、用語がまだまだ若干あると思います。事務局のほうでは用語解説を加えていただけてわかりやすくしていただいていると思いますけれども、一般市民の皆さんがご覧になることを考えると、できるだけ平易な表現がいいかなと思います。あまりカタカナ文字が不用意に多用しないほうがいいと思います。また文章もあまり長文にならないほうがいいかもしれません。難儀だと思うんですけども。大變的確なご指摘をいただいたと思います。よろしくお願ひしたいと思います。

(奥山和彦委員)

P105のサブ指標の「市の情報をコミュニティFMから得ている市民の割合」がもう少しよくなれば。77.4MHzを入れてください。

### ■政策7

～質疑応答～

(会長)

## 第2回横手市総合計画審議会会議録

P117の「施策の展開」ということで職員の研修ですとか、健康管理を具体的に記載されていますけれども、コロナの状況がどうなるかわかりませんが行政の方でも③に関して、時差出勤とかリモート業務とかそういう動きはあるものでしょうか。

(事務局)

今まさしく時差出勤につきましては試行ということで先週金曜日から始めている最中です。早出、遅出という形で、通常勤務も合わせますと、通常は8時半から17時15分までですので、3パターン試行を行っているところであります。テレワークに関しては、民間の企業さんも同じだと思いますけれども情報の取り扱いをどうしていくかという検討が必要になりますので、どういうことができるか検討している最中でありまして。この部分にどう反映させていくかについては担当課とも協議させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(会長)

市役所で率先して取り組む事例とか、民間の企業でも利用できる形態もあるかもしれないですね。急にというのはあれかもしれませんが、ご検討いただければありがたいと思います。

(柿崎大二郎委員)

112ページの「Society5.0」は、用語解説はあるんですけどもよくわからなくて、具体的にどういった課題を解決したとかそういった事例があれば教えていただきたいです。

(会長)

これは岩根さんから答えていただければと思います。お願いします。

(岩根えり子委員)

総務省さんとかでネットで検索していただくと「Society5.0に見える未来」のような動画でわかりやすく解説してくれているのがあります。例えばドローンを使ってほしい薬とかが家に届くとか、行く途中にスマホなどで注文しておくとか学校などに弁当が届くとか、そんなちょっとしたIT的な技術を使った便利な未来に向かってやっていきたいと思いますということで仮想空間と現実社会との融合。遠方におじいちゃん、おばあちゃんとなかなか会えないんですけども、そこにあたかもいるかのような空間を使って、一緒に歌うとか演奏会しようとか、そういうのも5Gが普及しだすとあまり時差なくいろんな通信ができるので、可能性としてはぜんぜんない訳ではなくて、今、そういうのに向かって様々な取り組みを企業さんもしているし、自治体さんでも取り組んでいるので、横手市でもそちらの方に向かってやっていければいいなと思っております。

(柿崎大二郎委員)

コロナ禍においてはこういった取り組みも必要なのかなと思います。ありがとうございました。

## 第2回横手市総合計画審議会会議録

(会長)

ありがとうございました。他に、こういった質問も大変結構だと思いますので。

(奥山和彦委員)

お酒の取り組みを話しては。

(岩根えり子委員)

横手市観光協会が企画している「よこて雪物語」という雪まつりで乾杯バーチャルツアーというのがあります。横手には5つの酒蔵があります。また、かまくらがリアルな開催が非常に難しく、しかしそれをやらないと忘れ去られてしまうということで、世界に向けて動画配信を使ってバーチャルな体験をしながらも、日本酒は実際に買っていただくと家に届くと。それもリアルとバーチャルの融合なんですけれども、杜氏さんとか、酒蔵の代表の方が画面でお酒の特徴やこんなものを食べながら飲むとおいしいですよというような話をしながらお酒を東京や台湾で飲んでもらうという企画をやっています。ぜひ試していただければ、自分の仕事としてこういうことにも活用できるのではないかとということを実体験として感じていただけたと思います。

(会長)

改めて政策1から7まで通してこの機会にご意見があればお願いします。

(岩根えり子委員)

項目で「重点施策」がありますが、「重点施策」に1から4の番号がついているんですけども、この番号は何の順番ですか。より重要なのが1なのか。

(事務局)

番号の意味は、大きな意味はありません。すべて並列というふうにとらえていただければと思います。便宜上つけているだけです。

(岩根えり子委員)

私が資料をみて何を戸惑ったかと言うと、重点施策が1なのに、施策の内容的には4がメインのような感じで、3のところに入っているんですよ。もし1が重要なのであれば、施策の並び順もより重要なものから順に1に出したほうが読みやすいんじゃないかなと思いました。並列であれば1を3で書いているのいいのか。市の中でより重要だと考えているものがあればそれを1番に出すべきでないかなと思います。要は、この長い文章を全部読むかと言われたら読むかなというので思ったところでした。

(事務局)

並列と申しあげましたのはそのとおりなんですけれども、基本構想に重点項目がありまして、その並びが「働く場が充実し、みんなが元気に暮らし続けられるまち」「安心して子どもを産み育てられ、みんなが笑顔で住み続けられるまち」という形の将来像に紐づく2つの柱があってその並びにあわせた形になろうかと思います。



## 第2回横手市総合計画審議会会議録

(岩根えり子委員)

わかりました。であれば中身もその順番にすると戸惑いは少ないかなと思いました。

あとは全体のどの場所に入るかわからないんですけども、若者雇用とか、若者の話はいっぱい出てきたんですが、60歳以上とか、65歳以上といった方々が横手ではより活躍しないと生き残れないのではないかと個人的に考えているのですが。この場ですごく活躍されている方々の年齢層ってあるじゃないですか。その人たちが地域を支えてまだ経済を動かしているんじゃないかなということ、若者の雇用はもちろんいいんですけど、高齢者と書いていいものか言葉はわからないんですけども。市役所を退職した方とか、次の仕事みたいなことで、まだまだ活躍するようなことも必要なのではないかなと思うので、そういうのが1つあればいいかなと感じました。ただそれがどこに入ればいいかなというのがわからなかったの。

「人生100年時代」という言葉が私の中でキーワードになっていて、100歳まで生きる中でまだまだできることがあるんじゃないかなということ、市の目標の中に入れられるといいかなと思いました。

(高橋雅博委員)

横手市の人口構成的に一番多いのが確か60くらいだったと思う。今の人口構成からいくと岩根さんがおっしゃったようにその人たちが働き続けないと、極端にGDPが下がるというか、基本下がってしまうので、そこは必要なんじゃないかなと聞いてて思いました。

(事務局)

ご指摘のとおりだと思います。そこの考え方をどこの部分に盛り込んでいくか。単純に施策の4だけでない部分があるのかなという感じもしましたので、検討させていただきたいと存じます。よろしく願いいたします。

(会長)

どうもありがとうございます。

### ■全体を通して

#### ～質疑応答～

(北野悟委員)

全体を通しまして成果指標の取り扱いなんですが、具体的な数値目標を掲げている項目もあれば、「増加している」と抽象的な表現で捉えている指標もあります。できれば抽象的な目標値で捉えているものについては避けたほうがいいのではないかなという気がします。

(事務局)

同じような指摘を議会からもされておりまして、前期の計画でも増加しているというような指標があるのですが、「それはうまくないのでは」というご指摘がありま

## 第2回横手市総合計画審議会会議録

す。今のご指摘も踏まえて、数値を入れる形に修正したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(事務局)

資料7の【全体】のNo.1を資料に基づき説明。

この質問は奥山ひとみ委員からの質問でしたが、このような内容でよろしかったでしょうか。

(奥山ひとみ委員)

はい、いいです。先ほど岩根さんがおっしゃってくださったように、高齢者の中でも元気な方々もたくさんいらして、そういった方々が子育ての分野でお手伝いできることがあったり、子育ての世代の人たちがこういう方々のお手伝いをしたりというような支え合いの地域づくりができないかなという視点です。

(会長)

どうもありがとうございました。

(事務局)

資料7の【全体】のNo.2を資料に基づき説明。

(会長)

ありがとうございました。それでは後期基本計画についてはよろしいでしょうか。  
(「はい」という声あり)

### (2) 第2期横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について

(事務局)

資料4～資料6をもとに説明。

～質疑応答～

(会長)

ありがとうございます。今、森田課長から第1期と比較した変更点を中心に説明をしていただきました。なお、この変更点につきましては、資料5にコンパクトにまとめていただいているということでございます。委員の皆様からご質問、あるいはご意見何でも結構ですので、ご発言いただければと思います。いかがでしょうか。

(高橋雅博委員)

KPIの設定について、12ページの農業産出額がありますが、平成30年の直近値で296億円、令和7年度で300億円というのは、なぜこの数字になったのか疑問に思ったのですが。

(事務局)

平成30年度の推計値の約10%増としており、ここの数値が直ります。10%増を目標とするので、令和7年度は320億円となりますので、修正をお願いいたします。

(高橋雅博委員)

10%というのは、全国平均とか何か意味があるのでしょうか。

## 第2回横手市総合計画審議会会議録

(事務局)

単なる目標で、全国平均が10%アップだからという統計に基づいたものでは、おそらくないと思います。すみませんが担当に確認します。

(会長)

ありがとうございます。なかなか農業に従事する方の減少が見込まれている中で増収というのは難しいですね。大変頑張っていくことですね。

他にいかがでしょうか。皆様よろしいでしょうか。

(事務局)

前回の総合計画審議会でもいただいたご意見と、その後FAX等でいただいたご意見の一覧表を資料6として事前にお配りしていたのですが、かなり字が小さかったので、本日机の上に置かせていただいております。このご意見の内容については素案に反映させていただいているのですが、一番最後9番のところは、検討中としておりました。この部分については机の上に置かせていただいた資料に修正案ということでお示ししております。

(会長)

ほかに皆様からご意見等ありませんか。

どうもありがとうございました。それでは以上で2つの大きな議題が終了したということになりますので、事務局にお戻ししたいと思います。皆様ご協力ありがとうございました。

### 4. その他

(事務局)

次回の予定についてご連絡いたします。次回は2月中旬を予定しております。本日いただいたご意見や、現在実施しておりますパブリックコメント、議会からのご意見等を踏まえた最終案を委員の皆様にお示しいたしまして、ご意見をいただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。日程については、会長とご相談させていただきまして、委員の皆さんにお知らせしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(事務局)

以上をもちまして第2回横手市総合計画審議会を閉じさせていただきたいと存じます。本日もお忙しいところ貴重なご意見、また長時間にわたりまして誠にありがとうございました。次回もよろしく願いいたします。

### 5. 閉会 (19:43)